

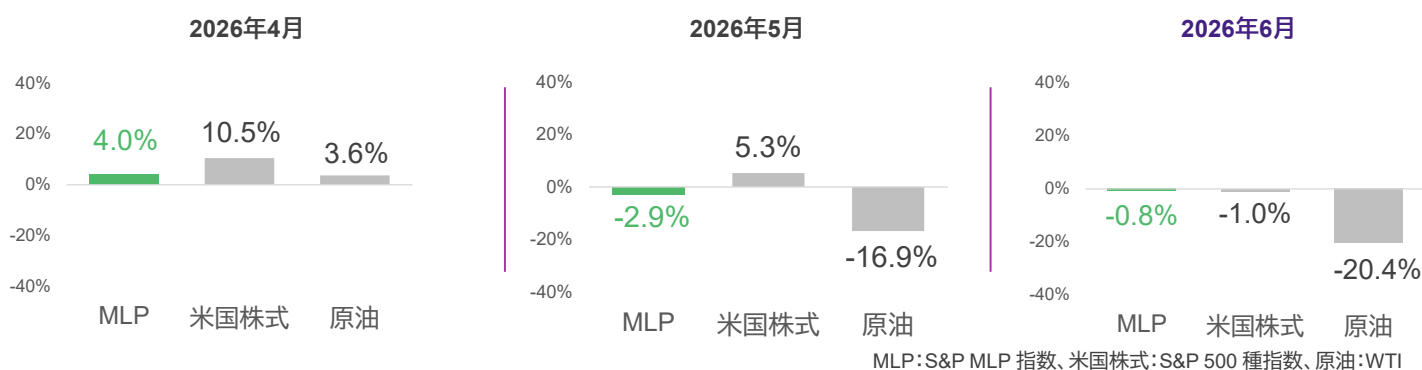
当月のS&P MLP 指数の動き

6月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比-0.8%と2カ月連続での下落となりました。

月初は、イラン情勢の先行き不透明感などを背景に原油先物が上昇したことから、MLPは上昇しました。しかしながら、その後は、米国とイランが戦闘終結で合意する可能性が意識され、原油先物が大きく下落する中、MLPも下落基調となりました。

過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)



主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率			
	当月末	前月末	3カ月前月末	前年末	1ヵ月	3ヵ月	前年末比	
	2026/6/30	2026/5/31	2026/3/31	2025/12/31				
S&P MLP 指数(米ドルベース)								
トータルリターン	11,804.60	11,904.43	11,790.62	9,966.65	-0.8%	0.1%	18.4%	
プライスリターン	1,984.36	2,001.14	2,016.53	1,735.11	-0.8%	-1.6%	14.4%	
S&P 500種 指数(米ドルベース)								
トータルリターン	16,774.07	16,935.35	14,560.75	15,220.45	-1.0%	15.2%	10.2%	
プライスリターン	7,499.36	7,580.06	6,528.52	6,845.50	-1.1%	14.9%	9.6%	
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)								
トータルリターン	1,951.88	2,055.93	2,255.17	1,631.23	-5.1%	-13.4%	19.7%	
プライスリターン	810.95	854.93	943.30	687.34	-5.1%	-14.0%	18.0%	
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)								
トータルリターン	2,219.93	2,152.21	1,974.81	1,883.85	3.1%	12.4%	17.8%	
プライスリターン	403.98	394.16	362.64	349.46	2.5%	11.4%	15.6%	
米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))								
トータルリターン	1,902.38	1,897.73	1,856.80	1,867.06	0.2%	2.5%	1.9%	
プライスリターン	69.36	69.58	68.84	70.38	-0.3%	0.8%	-1.4%	
米国10年国債利回り	4.46%	4.43%	4.31%	4.16%	0.0%	0.2%	0.3%	
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり	69.50	87.36	101.38	57.42	-20.4%	-31.4%	21.0%	
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり	3.28	3.29	2.88	3.69	-0.5%	13.6%	-11.2%	
米ドル(対円)	162.55	159.27	158.72	156.71	2.1%	2.4%	3.7%	

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当月の出来事いろいろ

- ・トランプ米大統領は13日、イランとの戦闘終結に向けた合意が14日に署名される予定だとSNSに投稿した。14日には、イスラエルがレバノンの親イラン武装組織ヒズボラに対する空爆を行なったのに対し、イランは報復を示唆した。一方、トランプ大統領は、全ての当事者に冷静な対応を求めた。その後、同大統領は、イランと戦闘終結で合意したと発表した。なお、署名は19日にスイスで行なわれる予定とされた。
- ・トランプ大統領は15日、G7(主要7カ国)首脳会議を前にした仏大統領との会談で、イランとの合意は既に署名済みだと明かした。また、19日に開催予定の調印式の後、ホルムズ海峡の封鎖措置が解除されるとの見方を示した。欧米の原油先物が続落した。米ニューヨーク・ダウ工業株30種が最高値を更新したほか、米半導体株指数が大幅高となった。
- ・米政府高官が17日、イランとの戦闘終結に向けた覚書の全14項目を読み上げ、60日間の交渉期間を定め、最終合意をめざすことや、イランが核兵器の調達・開発を行なわないこと、最終合意に至った場合、イランの復興に向けて米国などが最低3,000億米ドルを投じるほか、全ての米制裁の解除を約束することなどが明らかになった。また、予定を前倒しし、米国とイランの両大統領が遠隔で署名したことにより、同覚書が発効した。
- ・23日、トランプ大統領は、22日の一日でホルムズ海峡を通じて1,900万バレルの原油が運ばれたとSNSに投稿した。その後、イランが核査察を永久に受け入れることに完全に同意したとも投稿した。ただしイラン外務省の報道官は、核査察の計画はないと述べた。また、イランの凍結資産の解除についても、両国の主張に食い違いが見られた。原油先物が続落したが、下げ幅は限定的だった。翌24日、ホルムズ海峡での船舶の航行が正常化に向かっているとの見方が広がったことなどから、原油先物は続落し、米国とイスラエルによるイラン攻撃直前の2月下旬以来の安値で引けた。

今後の注目点

7月から、2026年4-6月期の決算発表シーズンに入る。これに先立ち、MLP各社から発表される分配金の動向に市場の注目が集まる。

過去3カ月の原油価格の動向

4月初は、イラン情勢を巡る供給懸念などを背景に原油先物は上昇し、WTIが1バレル=112米ドル台と2022年6月以来の高値を付けました。しかしながら、4月半ばにかけては、両国が2週間の停戦で合意したことを受け、原油先物は大きく下落しました。その後、協議の難航などが伝わり、原油先物は上昇する場面があったものの、6月末にかけては、米国・イラン間の戦闘終結に向けた覚書の発効やホルムズ海峡での航行再開の動きなどを背景に原油先物は下落幅を広げました。



信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

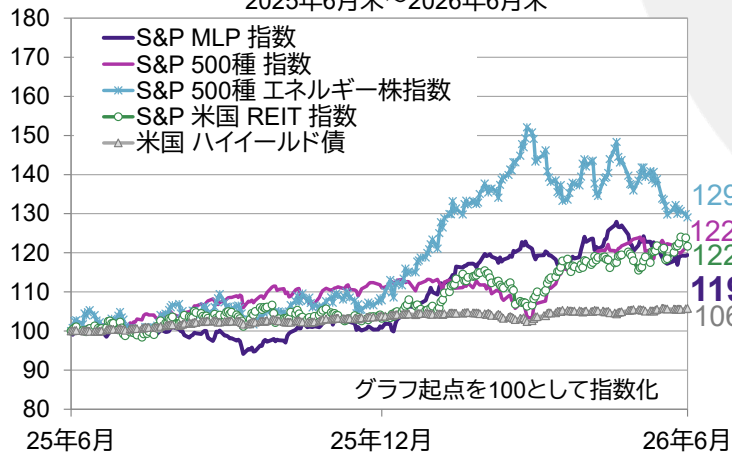
2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

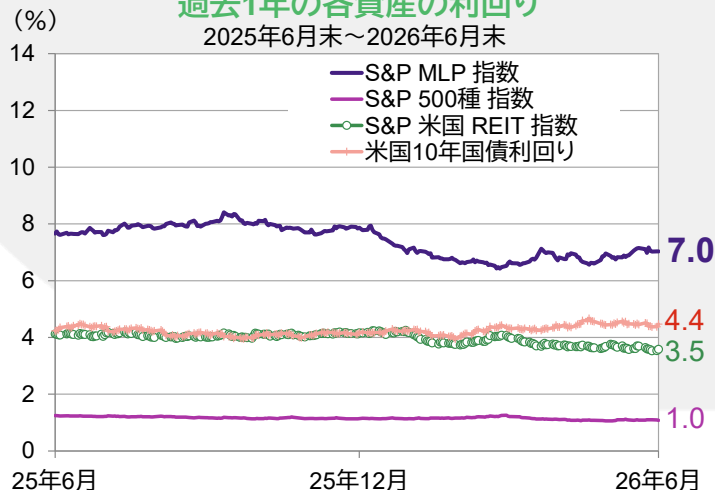
過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

2025年6月末～2026年6月末



過去1年の各資産の利回り

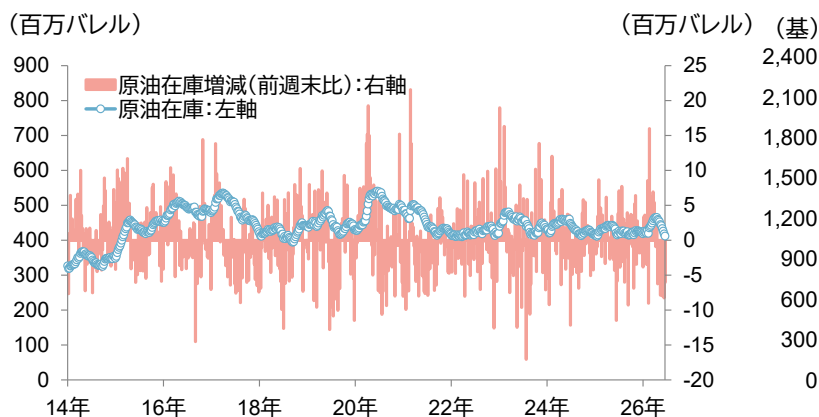
2025年6月末～2026年6月末



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

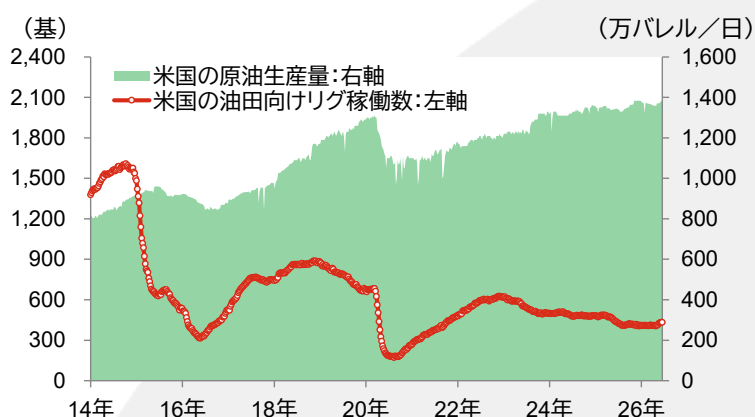
米国の原油在庫

2014年1月第1週末～2026年6月第3週末



米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

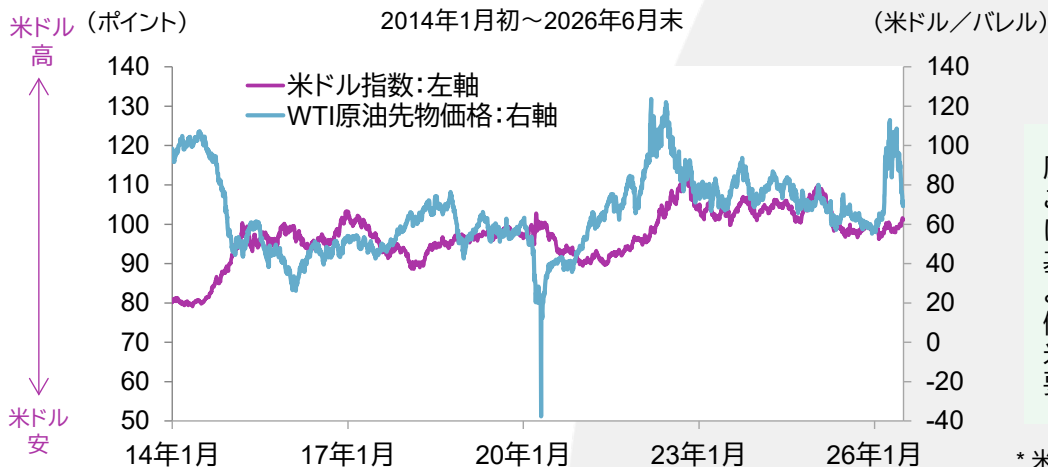
2014年1月第1週末～2026年6月第3週末



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和と懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

原油価格と米ドル指数*

2014年1月初～2026年6月末



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

* 米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社